



洛西交通名所図繪

初三郎

大正・昭和の鳥瞰図繪師
連載一第③回
吉田初三郎の世界



洛東洛西洛南洛北 京名所交通図繪

洛西交通名所図繪

文・藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

「風電」の愛称で親しまれている嵐山本線・北野線を運営する京福電気鉄道。戦前の京都電燈の鉄軌道部門を引き継ぎ、京都と福井に多くの鉄道路線を展開したが、現在はこの嵐電と比叡山の鋼索線（ケーブルカー）のみを運営している。

その京福各線の中でも最も歴史が古い嵐山本線は、嵐山電車軌道によって明治四十三年に開業。平成二十二年に開業百周年を迎えた。

本図はしっかりと嵐電の路線を表示していて嬉しくなる。電車は現在の阪急電鉄京都線大宮駅向かいの四条大宮駅が起点で、図上でレトロな吊掛式の駆動音を響かせて走行する臨場感をそのまま味わえそうだ。

電車は次の壬生駅（昭和四十六年廃止）から西院駅を経て四条通りを横断する。図示はないが、西大路三条を過ぎてからは併用軌道区間に入り、三条通りを進む。大正期創業の島津製作所があるのは山ノ内駅そば

藤本一美
首都大学東京・専修大学非常勤講師。地図情報センター理事。日本地図学会評議員。鳥瞰図・展望図資料室兼山岳情報資料室主宰。
近・現代の鳥瞰図絵師の作品収集と研究に精力的に取り組んでいる。著書に「旅と風景と地図の科学Ⅱ」（私家版2006年）、
最新刊に「展望の山50選 関東編」（東京新聞出版局）がある。



『洛東洛西洛南洛北
京名所交通図絵 [洛西交通名所図絵]』
(昭和3 (1928)年8月)
京都市教育会 発行 (定価50銭)
京都市内の池上改進黨 印刷



京福電気鉄道株式会社 Keifuku Electric Railroad Co., Ltd.

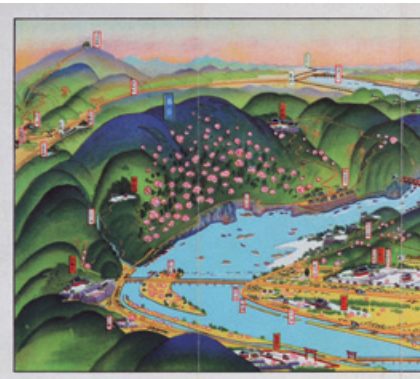
運輸開始：明治43年3月25日
設立：昭和17年3月2日
本社：京都市中京区壬生賀陽御所町3番地の20

「嵐電」の愛称で親しまれる 歴史ある京都唯一の路面電車。

京都で唯一の路面電車「嵐電」は明治43年3月、嵐山電車軌道が四條大宮から嵐山まで開業したのを始まりとする歴史ある路線。嵐電東の玄関口の四條大宮から京都観光の人気エリア・嵐山までを結ぶ嵐山本線、北野白梅町から本線の帷子ノ辻駅までを結ぶ北野線の2線がある。

総延長11km、総駅数21駅の沿線地域は、名所旧蹟が点在する歴史ある住宅エリアで、地域の足として利用されている。また、世界文化遺産の天龍寺、二条城、仁和寺、龍安寺、金閣寺など歴史的な名刹も多く、京都観光の「足」としてなくてはならない存在だ。

「京紫」の路面電車が古都の街並みを走る。京都の伝統ある風景として、地域に溶け込み、京都の人々に親しまれている。



品だ。だが、表示がないのが惜しい。蚕ノ社駅付近からは主に専用軌道となり、聖徳太子建立伝承のある広隆寺門前の太子前駅(現・太秦広隆寺)に着く。次は北野線が分岐する帷子ノ辻駅である。

その先、嵯峨野(現・有栖川)、車折神社前、嵯峨駅前(現・嵐電嵯峨)にかけては旧蹟と新旧の民家が混在する街中を走行し、終点の嵐山駅に到着する。天龍寺や保津川の渡月橋はすぐそこだ。

前述の北野線は、大正十五年開通時、現在より四〇〇mほど東側の北野駅(昭和三十三年廃止)が起点で、当然ながら昭和十八年開設の白梅町駅(現・北野白梅町)は本図にはない。路線は、等持院、龍安寺、御室(現・御室仁和寺)など、古刹の名を冠した駅が次々と登場。高雄口駅(現・宇多野)を経て、鳴滝駅から急勾配を下って常盤へと、閑静な住宅街をトコトコ進んで行く。

本図は、京都市内の東西南北四区分・四種の地域版のうちの「洛西」を扱ったもので、構図の特色は京都北西域の嵐山や保津峡、愛宕山、高雄を背景に、たくさんのお寺と名所旧蹟を立体的絵図として配置している。嵐電を目で追う楽しさもある作品だ。